

	特徴ある事業について	協議会委員の確保対策について
井草	<ul style="list-style-type: none"> ・地域密着度を生かした区民センター、四宮及び八成区民集会所を活用したまつりの開催 ・地域懇談会において、日頃あまり認識されない地域の課題をテーマに掲げ、講師による講演と地域団体の皆さんと意見交換する2部制により理解を深める取り組みを行っている。 	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中PTAの在り方が変化する中、委員推薦が困難で担い手確保が困難 ・町会・自治会等の推薦団体の高齢化 ・パソコンが普通に使用できない委員の存在 <p>(改善等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公募枠の要件の見直しによる人材確保 ・委員任期の見直し（更新による高齢化で組織力の低下することへの懸念） ・日中に対面である委員活動方法の在り方の検討（WEB会議の導入）
西荻	<ul style="list-style-type: none"> ・協働事業で荻窪病院と健康をテーマにホールを会場として講演会を行った。 ・区民集会所を会場に、幼稚園、保育園の園児の作品展示等を行うちびっこまつりを開催している。 ・センターまつりにおいて、模擬店でディッシュリユースを選択できる取り組み行い環境を意識したまつりを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞折り込みで案内チラシを配布した。 ・エリア内のきずなサロンに案内チラシを掲示してもらった。
荻窪	<p>恒例の「さいえんす緑日」、「アート展」、「おぎくぼセンター祭」や、字幕付き寄席の「荻窪寄席」や小学校へ出向き「講演出前授業」を実施しています。</p> <p>令和5年度は40周年記念事業で発行した冊子「総集版 荻窪の記憶」のシンポジウムと地域懇談会やウクライナ料理を賞味し語り合う「こみゅに亭カフェ」なども開催しました。</p> <p>令和6年度は秋に開園する「荻外荘」に関するイベントを企画するとともに恒例のイベントは実施していきます。なお、11月から荻窪地域区民センターが改修休館に入るため、荻窪会議室や10月に開設されるコミュニティふらっと本天沼、他の地域区民センターを使用させていただき講座等を実施する予定です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会ホームページや広報誌などにより継続的に募集 ・協議会委員による声掛けを実施 ・元委員や新委員候補者のサポーター登録 ・小中学校PTAへのはたらきかけ
阿佐谷	<ul style="list-style-type: none"> ・阿佐谷では「子ども音楽祭」では楽器の体験型の事業を行っている。 ・例年「阿佐谷ジャズストリート」開催に合わせて「阿佐谷ジャズストリート応援ライブ」を実施している。 	<p>公募委員が推薦委員を超えないようにという「会則」は現実には難しいので、阿佐谷では公募委員を地域団体の推薦に変更していただいているのが現実である。</p>
高円寺	<p>《従来》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○わい！わい！わだまつり（障害者団体連合会との協働）【和田区民集会所・和田障害者交流館・和田小学校】 ○セシオン杉並まつり（センターまつり） ○きた！きた！高円寺まつり【高円寺北区民集会所】 ○阿波おどり体験講座（おじゃま連） <p>《新規》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○指定管理事業者（東急コミュニティ）との役割分担（今後調整を行っていく） ・ポピュラーになってきた講座→指定管理者 ・地域での人材・興味にあった講座等の発掘→協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ○町会・自治会へは、直接依頼 ○民生・児童委員等従来推薦団体からの継続推薦のお願い ○PTAからの推薦をもらうための説明会の実施（予定） ○協議会周知ビデオ（DVD）の作成 ○委員募集チラシパンフレットのリニューアル ○中途入会委員の任期の課題 ○任期終了した委員の活用 ○協議会OG・OBのサポーターの構築（名簿の作成）
高井戸	<p>高井戸地域区民センターは、大きな広場を持ち、プール、高齢者施設、図書室などを備えた複合施設である。そのため利用者数も多く、利用者の年齢の幅も広い。そうした恵まれた条件から、「まつり」など諸事業への参加者数も非常に多い。</p> <p>当センター協議会では、地域の住民のニーズをとらえた事業、高井戸消防まつり（子どもからお年寄りまで、参加体験型の防災訓練まつり）、ちびっ子ぼんおどり（子どもたちが中心に身近に夏祭りを楽しむ）などを開催している。また定番化した山本会による「高井戸狂言会」など、毎年地域の方が楽しみにしている行事もある。</p>	<p>区からのお知らせ掲載：同時期委員募集になる高円寺と合わせて広報誌への拡大記事掲載を依頼。そのほか、立て看板、ポスター、チラシ、HPなど、地域の方が目にするように現委員とも協力して、考えられうる方法すべてで委員募集の情報発信を行う。</p>
永福	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今年度は新たに12名の多様な経歴・経験をお持ちの方々が委員として加わり、総勢39名の委員によるより多様性のある活動が可能となった。 2. 永福和泉は、独立した協働事業推進部があり、地域内団体及び永福体育館やコミュニティふらっとの指定管理者とも協働で、おまつりやイベントの協働開催を推進している。 3. 上記1・2により、SDGs関連・地域住民の課題解決・歴史や文化などの知識の醸成に繋がる講座やイベント開催の更なる充実図っていく予定（ポッチャ体験イベント、SDGs入門講座、健康フォーラム、渋沢栄一講座等）。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 協議会紹介リーフレットの作成と配布、ホームページや広報誌などによる協議会活動の継続的啓発活動 2. 地域懇談会やPTA懇談会での協議会啓発活動 3. 委員募集チラシの配布・掲示（地域内施設、町会、新聞折り込み等） 4. 地域内地区町連での啓発活動